

一般財団法人時習館同窓会教育基金について 2022,5,8

理事長 安形哲夫

1, 設立までの経緯

時習館高校は文科省や愛知県の支援を得て国際交流を続けてきたが、国、県の援助だけでは不足の為、PTA、卒業 25、50 周年の卒業生の寄付を得て活動を続けてきた。

しかし国、県の援助は持続性の保証もなく、安定的な国際交流の為の財源確保と、加えて国際人材育成の為の留学支援、経済的に困窮する学生の進学支援も視野に入れた奨学金財団の必要性が同窓会三役会で議論された。

偶然軌を一にして、本校 OB の篤志家見山氏からの多額の寄付の申し出により財団設立が加速され、2021 年 10 月の同窓会理事会に於いて「一般財団法人時習館同窓会教育基金」の設立と同窓会から 300 万円の出捐が承認された。

2, 教育基金の体制と事業内容

(1) 体制

- ・評議員 小池高弘 (議長) 小林佳雄 花田直秀 富田佳央 日比孝志 福井英輔 小栗俊朗
- ・理事 安形哲夫 (理事長) 高須博久 大須賀憲太 小野金子 小野喜明 石川誠
- ・監事 大河一夫 伊藤眞芳

(2) 事業内容

- a,国際交流支援 b,国際交流を行う補助教員に対する支援 c,海外留学支援 d,奨学金給付
e,時習館の教育環境改善支援 f,その他この法人の目的達成のための事業

3, 今後の活動計画

(1) 公益財団法人化に向けて

公益財団法人化により寄付金の税額控除を可能とすることで多くの寄付を集め、財団の財政基盤を固めて教育支援の拡充を図る。その為にはまず令和 4 年度から奨学金の支給等の実績を重ねて早期の公益財団法人の認可を目指す。

(2) 今後の財政について

篤志家 OB の方の貴重な寄付金と時習館同窓会からの出捐金 300 万円だけでは安定的運営は望めない為、これからも卒業 25,50 周年の方からの寄付金に加え同窓会理事会の承認を得たうえでさらなる出捐を仰ぎ財政基盤の確立を図るとともに、リスク管理をしたうえでの運用等も検討する。

また「公益財団法人化」後は積極的な募金活動を展開していく。

以上